

いわみの

(益高だより)

第142号

令和2年3月24日

島根県立益田高等学校

■令和元年度を終えるにあたって

校長 柿本章

平成31年で始まった一年も終わろうとしています。この年度末は、新型コロナウイルス感染症の影響で学校現場がこれまでに経験したことのない状況の中で迎えることになりました。

3月3日の卒業式では保護者と教職員それに在校生代表で171名の卒業生を送りました。卒業生に対しては申し訳ない形になりましたが、その中で在校生代表の送辞、急遽録音で対応することになった吹奏楽部演奏の入場曲、音楽選択者と合唱部の歌声による退場曲など、心のこもった後輩たちの想いは卒業生に届いたのではないかと思います。

さて、今年度一年は生徒の皆さんにとってどのような一年だったでしょうか。今年度の始めに、「自立への道程」を具体的に表すものとして「益高生に身につけてもらいたい資質・能力」を示しましたが、日々の学習、部活動、SSHプログラム等を通じて伸ばすことができましたでしょうか。改めてループリックで振り返り、次年度にはどこをどう伸ばしていくのかを考え、行動に移してほしいと思います。

次年度に向けてと言えば、先日3年学年主任の椋木先生が2年生の各クラスを回って話をしてくれました。卒業した生徒たちを1年生からずっと見てこられた先生だけに、誰よりも説得力がある話が聞けたのではないかと思います。

その話の中からいくつかエッセンスを紹介します。

- ・6月の総体後の学年集会以降、過去の3年生にないほど学習時間は増えた。
- ・ところが12月には多くの生徒がもっと早くから本気で取り組んでおけばよかったと後悔していた。
- ・今の2年生は、3年生があつた時に戻りたいと心から願った「もっと前」にいる。
- ・本気で全力、真剣で必死・懸命な頑張りが必要で、君たちがその頑張りを見せるなら先生方は必ず力を貸してくれる。
- ・自己流に走らず、学校や先生をうまく活用し、自分自身を高める努力を最後までしてほしい。

もうすでに令和2年度は始まっています。「自立への道程」に向けて動き出しましょう。

■Bon Voyage

最初に、緊張しながらも晴れがましい顔をした卒業生が担任を先頭に入場します。出席できない在校生が心を込めて録音した吹奏楽と合唱の音楽が3年生の門出を祝います。開式の宣言、国歌斉唱の後、担任の呼名に大きな声で「ハイ」と応える姿にこれから様々なところで学んだり、働いたりすることへの決意を感じます。普通科代表で篠原由美子さん、理数科代表で俵直也さん

が卒業証書を受け取ります。校長先生の祝辞のあと、在校生で唯一出席した生徒会長の龍河勇人さんが感情を抑えながらも先輩に想いの伝わる送辞を述べます。卒業生を代表して内藤耀貴さんが3年間の益高生活を振り返り、仲間への熱いメッセージ、保護者や教職員など支えてくれたすべての人たちへの感謝、後輩への激励を答辞として読み上げます。最後に万感の思いを胸に校歌を斉唱し、ほっとした表情の3年生が保護者に顔を見せ、少しはにかみながら在校生の録音した歌に送られて退場していきます。

高橋宏聡PTA会長さんが「PTAだより」の卒業生への饒の言葉の中で次のように述べられています。「今、旅立つ子の親として、ひしひしと感じるようになったのは、帰る場所がなければ旅とは言えないということです。これからの私たちの大きな役目は、卒業生たちが安心して旅が出来るように『帰れる場所』を守り続けていくことであると、そう考えています。」益田高校も卒業生が「帰れる場所」としてその使命を守り続けていきます。卒業生諸君 **Bon Voyage!**

■君たちの明日へ

「最適解は自分で探せ」

教務部長 安達 宗男

3年生英語表現の2学期期末試験で「自分の英語学習を振り返り、後輩たちが力をつけるために必要だと思うこと」を50語程度の英語で書く問題を出題しました。よく書けていた英文のトピックセンテンスをいくつか抜き出すと、“I think that it is necessary to learn basic things correctly.” “I think that it is necessary to use the Internet well.” “I believe that reading English aloud is very effective.” 等がありました。みなさんはどれがいいと思いますか？ 複数の可能性の中から自分にとっての「最適解」を探そうとすることは、とても大切なことだと思います。

「こんなときだからこそ」

生徒部長 萬燈 智子

年が明け、あっという間に世界中が「新型コロナウイルス」一色になり、終息の目途が未だに立っていない状況が続いています。本校も影響を受け、日々の部活動、三年生を送り出す卒業式、タイ研修、ロードレース、そして三学期の終業式も縮小、中止となりました。

おそらく「例年通り」に物事が進まない新学期が始まります。制限の中でも、それでも有意義な生活を送り力をつけてほしい。皆さんのたくましさ、判断力、行動力に期待しています。力を合わせて益田高校での活動を盛り上げてください。

「重要なのは・・・」

進路指導部長 長谷川 哲明

先日、卒業生が受験を通しての体験談を話してくれました。それぞれに自分の気持ちを後輩に伝えようとする熱が感じられました。感想を見ると多くの生徒が先輩の言葉が心に刺さった！などいいことが書いてあるものがほとんどでした。その後、みなさんの生活や姿勢は変わりましたか？進路講演会や先輩からの話などは聞くことが大切なのではありません。その話を聞いてからどうなったか、どうしたか、どう変わったかが重要なのです。今年はコロナの影響で部活動がありませんので時間はあるはずですが、意志の弱い人は今回の感想をClassiに入れておくなりして見直す機会を作りましょう。やる気が出ないなどと戯れ言を言わずに、自分がすると決めたことを実行しなさい。

転任者より

(50音順)

石飛 文太 先生 (国語)

四年間の勤務でしたが、皆様方のお陰で充実した時を過ごすことができました。生徒のみなさんには、努力する素晴らしさを教えてもらいました。目標に向けて、同じ時間を共有できたことを嬉しく思っております。本当にありがとうございました。



伊藤 朱音 先生 (理科・実習助手)

1年間という短い間でしたが、先生方、生徒の皆さんに支えられ充実した毎日を過ごすことができました。特に生徒の皆さんが実験中に驚いたり感動したりしている姿はとても印象的です。素敵でした。これからも益田高校の活躍を期待しています。ありがとうございました。

後川 慶一 コーディネーターさん

益田高校には三年間お世話になりました。たくさんの良い経験をさせてもらいました。ありがとうございました。皆さんもこれから頑張って、人にやさしくできるだけ知性と勇気を養ってください。Know thyself.

金田 美保子 先生 (英語)

I graduated from Masuda high school, but there weren't any SSH programs at that time. Because I had to create new things which I have never experienced before, the last four years was really a tough time. "Never say never." You still have a lot of time to make yourself what you want.

桐田 美里 先生 (家庭科・実習助手)

勉強、部活動、行事。何事にも一生懸命なみなさんの姿に、益田高校の素晴らしさを改めて感じた1年間でした。みなさんと共に楽しい毎日を過ごすことができ、本当に幸せでした。関わっていただいた生徒のみなさん、教職員や保護者のみなさん、本当にありがとうございました。

佐々木 義彦 先生 (地歴公民：日本史)

森鷗外に「石見人森林太郎トシテ死セント欲ス」と遺させた、この石見の地。「高いレベルの文武両道に挑戦します！」と息巻いていましたが、胸を張って益高生ですと言える人間への成長に力になれたかどうか…しかし、私にとってははかけがえのない6年間でした。ありがとうございました。

佐藤 哲也 先生 (保健体育)

4年間お世話になりました。愚痴を言いながらもやることはしっかりとやる姿は、本当にすごいなと思っていました。負けないように、僕も頑張ります！これからも、みなさんの高校生活が充実することを期待しています。では、お元気で。

炭屋 和利 事務長さん

わずか一年でしたが、掃除の時間や廊下で生徒の皆さんとちょっとしたおしゃべりをするのがとても楽しく充実した一年間でした。今後、近くで皆さんの頑張っている姿や活躍を応援しています。校門横の池に我が家で飼っていたメダカを少しですが、放流しておきました。覗いてみてください。

橋 奈穂美 先生 (芸術：音楽)

様々な人に成長させてもらえたと思える4年間となりました。思い出すのは、生徒の皆さんの真剣な眼差しや、達成感に満ちた笑顔など、どれもキラキラした表情ばかりです。皆さんの素直さや感性をこれからも大切に。どうか、お元気で。ありがとうございました。

田村 黎衣 先生 (地歴公民：世界史)

4年前、母校である益高で私の教員生活が始まりました。初めて教壇に立つ前、「人前で話せるかな。授業ボイコットされたらどうしよう」とまで想像を膨らませましたが、益高生はいつも、今も一緒に頑張ってくれています。皆から多くの幸せと学びをもらったことに感謝です。ありがとう。

中島 一雄 先生 (英語)

長いようで短い8年間でした。授業はもちろん、学園祭などの学校行事、SSHの関西実習・発表会、4つの部活動などでのみなさんの真剣な表情、笑顔、寝顔？がフラッシュバックします。次の学校で還暦を迎えます。みなさんに負けないようもうひと頑張りしてきます。

中山 純平 先生 (理科：物理)

たった1年間でしたが、授業、部活動、地域活動、どれを取っても充実した1年でした。総じて生徒の皆さんや保護者様はじめ地域の方々に支えていただいたおかげです。ありがとうございました。学校は離れてしまいますが、これからも楽しくやっていきましょう。

福井 文生 教頭先生

1年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。毎日元気でたくましく、素直な皆さんに囲まれて楽しく過ごすことができました。一人ひとり、進路実現に向け高校生活が充実したものになることを期待しています。ありがとうございました。

松川 均 先生 (理科：化学)

2年生・3年生の化学を担当しました。益高は3度目の勤務で、通算11年間勤めさせていただきました。校門を入ると、右に池がありま

す。初夏に白い花を咲かせる蓮を見るのが楽しみでした。健康には十分留意して、勉強や部活動にがんばってください。

萬燈 智子 先生 (国語)

8年間、何より思い出に残るのは日々の授業です。皆さんとのその場でのやりとりが本当に楽しかった。来年度は授業力を身に付けるため、県外に修業に行ってきます。楽しく過ごせる場所を与えてくださった、生徒の皆さん、先生方、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

山根 萌 先生 (数学)

1年間の間でしたが、とても充実してあっという間に感じました。学ぶことも多く、皆さんと一緒に勉強した1年でした。授業・部活・掃除・学校行事などでたくさんの生徒の皆さんをはじめ多くの方と関わり、とてもお世話になりました。1年間ありがとうございました。

米原 勝治 先生 (地歴公民：地理)

六年間の勤務でした。皆様方のお陰でなんとか今日を迎えています。何もお役に立てず申し訳ない。改めて自分自身をみつめるきっかけにもなりました。確かな歩みを重ねれば、やがては花が咲くのでしょうか。本当にありがとうございました。

■ 4月の行事予定

- 4月 6 (月) 新入生健康診断
- 8 (水) 始業式
2,3年課テ (英・数・国)
- 9 (木) 入学式
- 10 (金) 1年課テ (数)
新入生橋渡し week (~17日)
- 11 (土) 3年保護者対象進路説明会①
2年保護者対象進路説明会
- 13 (月) 2・3年身体測定
- 14 (火) R元年度PTA役員会④
歯科検診
- 15 (水) 遠足
- 16 (木) 歯科検診
- 17 (金) 立会演説会

選挙 (前期生徒会)

- 20 (月) 第1回各種委員会 (生徒)
1年課テ (英・国) 内科検診
- 21 (火) 歯科検診 尿検査
- 22 (水) 内科検診
- 23 (木) 耳鼻科検診
- 24 (金) 部活度登録締切日
- 25 (土) 1年保護者対象進路説明会
- 27 (月) 生徒総会
- 28 (火) 尿検査
- 29 (水) 国民の休日
3年進研記述 (希)
3年駿台判定 (希)
- 30 (木) 耳鼻科検診

益田高校ホームページ www.masuda.ed.jp/

益田高校フェイスブック <https://www.facebook.com/masuda.hs/>